

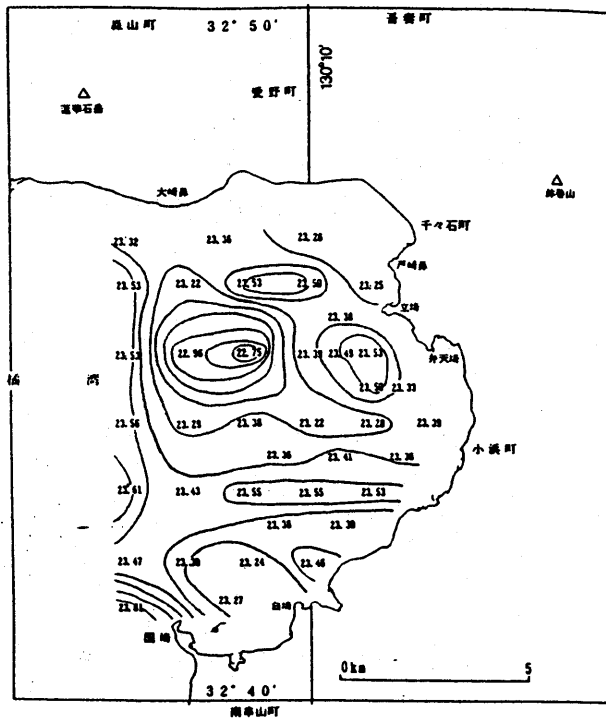
橋 湾 地 熱 調 査*

海上保安庁水路部

水路部では、雲仙普賢岳の噴火活動に伴い、橋湾において平成4年10月に、測量船「天洋」により地熱調査を実施した。(第1図～第5図)

調査期間 平成4年10月12日～18日
 調査船 測量船「天洋」430総トン
 海上測位 GPS
 使用センター 50cm 3センサー 100cm 3センサー

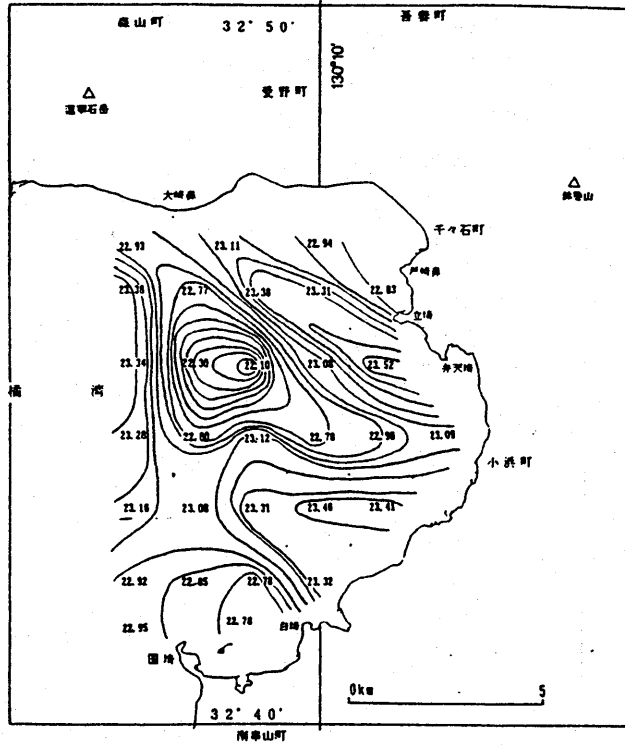
今回の調査期間中は海水温が海底温よりも高かったので、海底深くなるにつれて地温は低下していた。その中でも大崎鼻南方に海底下50cmの地温の低い区域があり、弁天埼西方には地温の比較的高い区域がみられる。



第1図 橋湾の地熱分布図(海底面地温, °C)

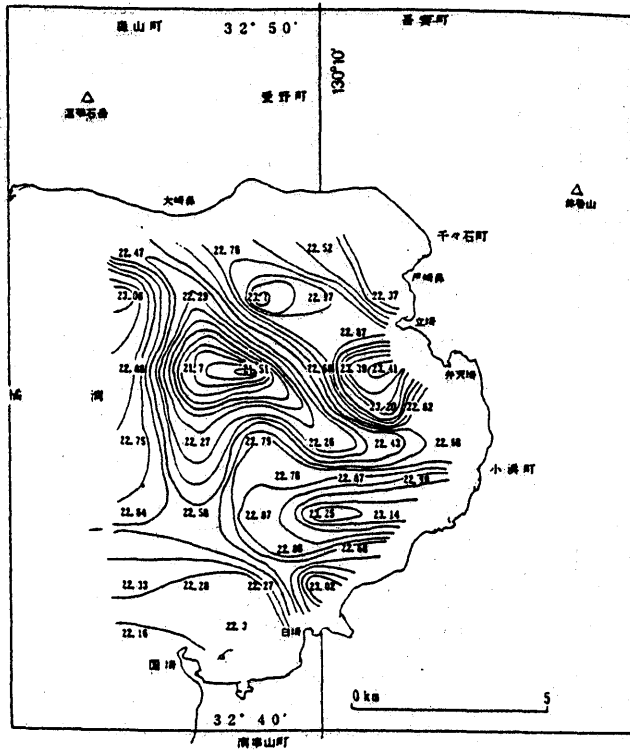
Fig. 1 The geothermal distribution in Tatibana Bay (on the sea floor, °C)

* Received 21 Apr, 1993



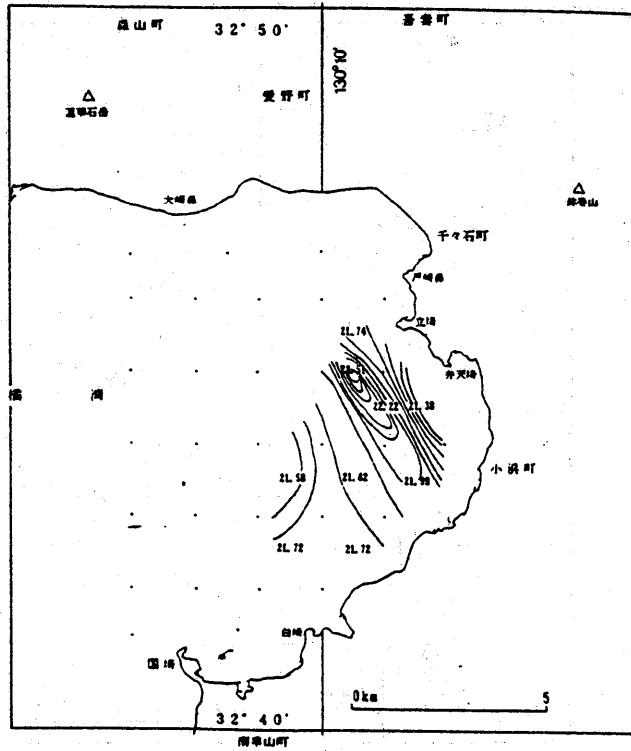
第2図 橘湾の地熱分布図 (海底下25cm地温, °C)

Fig. 2 The geothermal distribution in Tatibana Bay (25cm below the sea floor, °C)



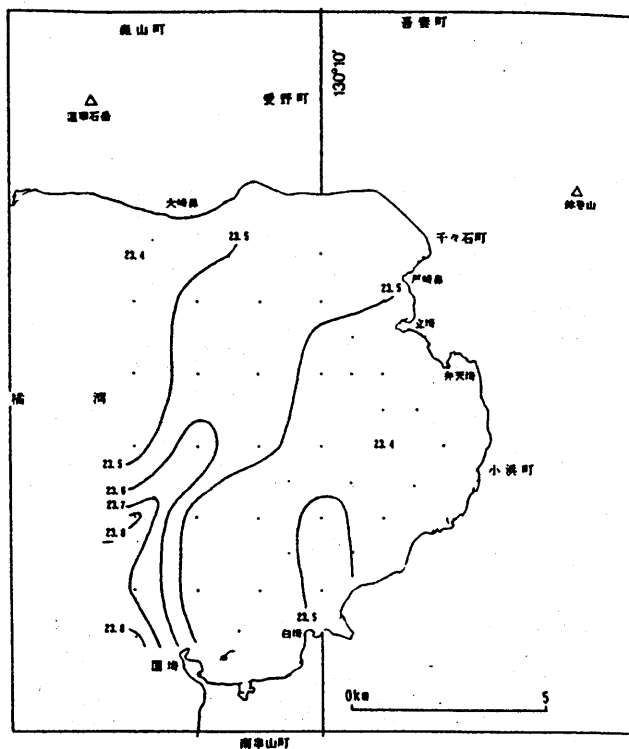
第3図 橘湾の地熱分布図（海底下50cm地温，℃）

Fig. 3 The geothermal distribution in Tatibana Bay (50cm below the sea floor, °C)



第4図 橋湾の地熱分布図 (海底下100cm地温, °C)

Fig. 4 The geothermal distribution in Tatibana Bay (100cm below the sea floor, °C)



第5図 橘湾の水温分布図 (海底上5 m, °C)

Fig. 5 The water temperature distribution in Tatibana Bay (5 m above the sea floor, °C)